

# 自動運転盤

## 型名 EAC-11

三相 200V用 ~11kW迄 <屋外形>

・レンタルポンプの全機種に使用できます。

・給水用・排水用いずれにも使用できます。

ただし、出荷の際は「排水」にセットしてあります。  
給水用に使用の場合は切替スイッチを給水側に倒してください。



・設置方法等は次頁に従ってください。



### 電極式水位計の御使用時の注意点

・水質によって、水の固有抵抗により電極が作動せず、ポンプが動作しない場合があります。  
海水などに使用される場合はご相談下さい。

水の固有抵抗(一般的な目安)

動作状況	種類	固有抵抗
○	水道水	5k $\Omega$ ・cm
○	井戸水	2k $\Omega$ ・cm
○	川水	5k $\Omega$ ・cm
○	下水	0.5k $\Omega$ ・cm
○*	雨水	15k $\Omega$ ・cm
×	海水	0.03k $\Omega$ ・cm
×	蒸留水	250k $\Omega$ ・cm以上

\* 純水に近い雨水の場合は動作しない場合があります。

・電極はお客様でご用意いただきたくお願いいたします。  
簡易な方法として、3線式ケーブルを電極としてご使用いただけます(接続方法は次頁をご参照下さい)。  
芯線の部分は時折ご清掃下さい。



## アイム機械株式会社

本社〒330・0856埼玉県さいたま市大宮区三橋3・202

TEL:048(644)5811 FAX:048(641)6986

# 自動運転盤の取扱方法

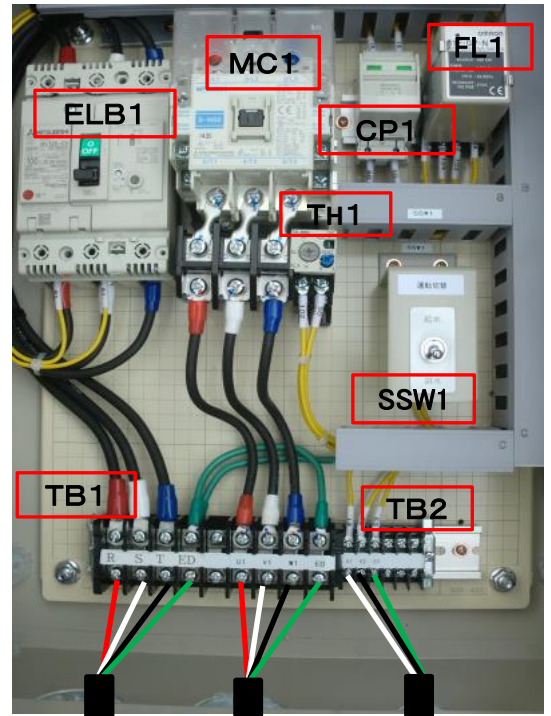
(排水用)

## 仕様

- ① 三相 200V ~11kW
- ② 最外形(縦・横・奥行)(mm) : 530 x 460 x 222
- ③ 出荷時の設定  
「運転切替」(SSW1)は排水側に設定してあります。

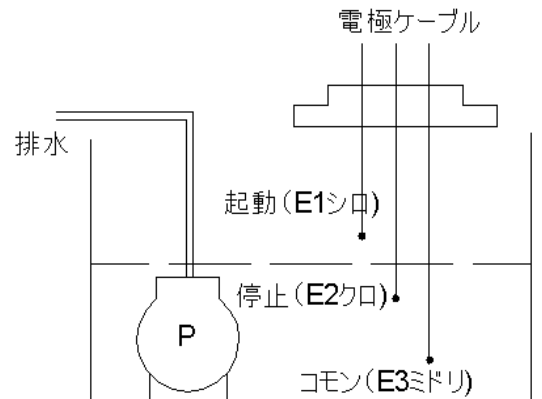
## 接続方法

- ① 電源  
右図のように端子台(TB1)のR(赤)、S(白)、T(黒)、ED(緑)の各端子へ接続して下さい。
  - ② 水中ポンプ  
右図のようにポンプケーブルを端子台(TB1)のU1(赤)、V1(白)、W1(黒)、ED(緑)の各端子へ接続して下さい。
- (注) ポンプを設置する前に回転方向の確認をお願いいたします。  
ポンプ逆転の場合は、U1(赤)、W1(黒)の接続を入れ替えて下さい。逆転の場合でも多少揚水致しますので必ず確認下さい。

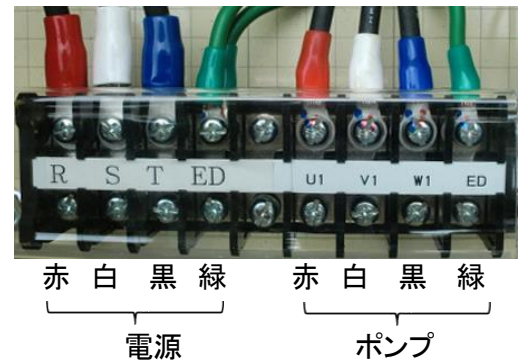


- ③ 電極の取付け・接続(電線を利用した簡易な方法)  
3芯の電線を端子台(TB2)のE1, E2, E3 に接続し、電線先端の被覆を取り、運転を行いたい水位に固定してください。  
動作は右図を参照してください。  
工場出荷時に簡易電極電線が添付されています。(芯線径は1.25mm<sup>2</sup>以下を使用してください)  
※E3の位置は必ずE2より下方へ。  
※電極電圧は8Vですから人体に危険はありません。
- ④ フロート式水位計の接続方法  
フロート式水位計2個の場合:  
E1-E3(ON)、E2-E3(OFF)に接続  
ポンプのON-OFF間を自由に変えられます。

電源      ポンプ      電極ケーブル



TB1: 電源・ポンプ端子詳細



TB2: 水位計(電極等)端子詳細



(注) ポンプが間欠運転にならないよう注意下さい。

## 操作方法

- ① 操作準備  
漏電遮断器(ELB1)のスイッチとサーキットプロテクター(CP1)のスイッチをONにして運転盤表面にある切換スイッチ(中央位置で切り)を右へ倒せば自動運転、左に倒せば手動運転になります。
- ② 自動運転  
設定水位間で自動で運転します。(起動水位に達すると運転を開始)
- ③ 手動運転  
水位計の設定にかかわらず運転します。
- ④ 故障時の対応(原因を取り除いてから行って下さい。)  
ブレーカーが中間位置で切れている場合、一旦下げて再度入れて下さい。  
サーマル(TH1)が動作した場合は、約 5分後、サーマル(TH1)のリセットボタンを押して下さい。

# 自動運転盤の取扱方法

## (給水用)

### 仕様

- ① 三相 200V ~11kW
- ② 最外形(縦・横・奥行)(mm) : 530 x 460 x 222
- ③ 出荷時の設定  
「運転切替」(SSW1)は給水側に設定してあります。

### 接続方法

- ① 電源  
右図のように端子台(TB1)のR(赤)、S(白)、T(黒)、ED(緑)の各端子へ接続して下さい。

- ② 水中ポンプ  
右図のようにポンプケーブルを端子台(TB1)のU1(赤)、V1(白)、W1(黒)、ED(緑)の各端子へ接続して下さい。

(注) ポンプを設置する前に回転方向の確認をお願いいたします。  
ポンプ逆転の場合は、U1(赤)、W1(黒)の接続を入れ替えて下さい。逆転の場合でも多少揚水致しますので必ず確認下さい。

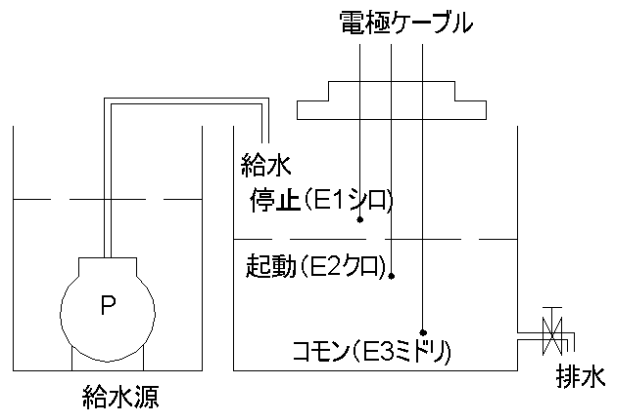
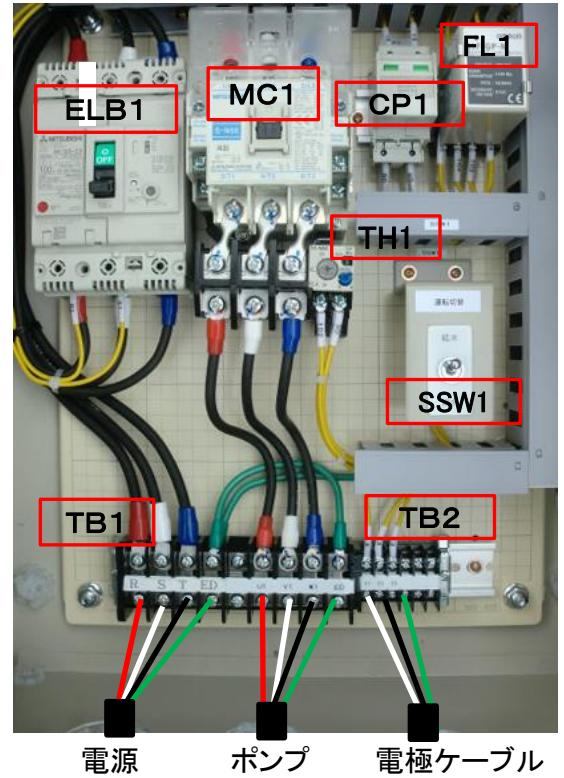
- ③ 電極の取付け・接続(電線を利用した簡易な方法)  
3芯の電線を端子台(TB2)のE1, E2, E3 に接続し、電線先端の被覆を取り、運転を行いたい水位に固定してください。  
動作は右図を参照してください。  
工場出荷時に簡易電極電線が添付されています。(芯線径は1.25mm<sup>2</sup>以下を使用してください)  
※E3の位置は必ずE2より下方へ。  
※電極電圧は8Vですから人体に危険はありません。

- ④ フロート式水位計の接続方法  
フロート式水位計2個の場合:  
E2-E3(ON)、E1-E3(OFF)に接続  
ポンプのON-OFF間を自由に変えられます。

(注) ポンプが間欠運転にならないよう注意下さい。

### 操作方法

- ① 操作準備  
漏電遮断器(ELB1)のスイッチとサーキットプロテクター(CP1)のスイッチをONにして運転盤表面にある切換スイッチ(中央位置で切り)を右へ倒せば自動運転、左に倒せば手動運転になります。
- ② 自動運転  
設定水位間で自動で運転します。(起動水位に達すると運転を開始)
- ③ 手動運転  
水位計の設定にかかわらず運転します。
- ④ 故障時の対応(原因を取り除いてから行って下さい。)  
ブレーカーが中間位置で切れている場合、一旦下げて再度入れて下さい。  
サーマル(TH1)が動作した場合は、約 5分後、サーマル(TH1)のリセットボタンを押して下さい。



TB1: 電源・ポンプ端子詳細



TB2: 水位計(電極等)端子詳細

